

# ～台風通過後の水稻被害軽減対策～

## 品種によっては倒伏による穂発芽に注意！

台風の影響により、収穫前のほ場内に多くの水が溜まっており、倒伏しているほ場では穂発芽による品質低下が懸念されます。今一度ほ場の確認を頂き対応をよろしく願いいたします。

### ★対策（早生品種について）

- ①刈取り前のほ場内に水が溜まっている場合は早急に排水し、適期収穫に向けた対応をしてください。
- ②倒伏しているほ場や刈遅れのほ場は、品質低下や穂発芽の発生が考えられますので刈分け等考慮し収穫作業を行ってください。  
※特にキヌヒカリには注意してください！！
- ③乾燥・調整についても、あきらかに品質が違う場合は必ず別処理による対応が必要です。注意してください。  
(品質の良いものと悪いものが混ざると米の等級が悪くなる可能性があります。)

倒伏により穂発芽した籾



### ★対策（中晩生品種について）

- ①冠水や浸水被害を受けたほ場は、稲体の水分調整や肥料吸収等の働きが低下しているため、排水後のほ場管理は過度な乾燥は避けましょう。
- ②収穫までに日数はありますが、すでに倒伏しているほ場については早急に排水を行い品質低下（穂発芽等）軽減に努めましょう。

## ～JAからのお願い～

生産者の皆様が丹精込めて栽培頂いたお米は、JA 東びわこが責任をもって販売させていただきます。1袋でも多くの出荷をよろしくお願いいたします。

